

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山事業(火山)	事業箇所	山梨市	切差	地区名	山口沢(やまぐちさわ)	事業主体	山梨県	
(1)事業概要				(3)事業の妥当性評価				妥当	妥当でない
①課題・背景				①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本計画箇所は、山梨市切差 山口地区に流入する一級河川兄川の左支流に位置している。近年の集中豪雨により溪流の荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出防止対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。				・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②整備目標・効果				③経済妥当性				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
□主要目標				費用便益費 便益(B)/費用(C)= 2.69 > 1.0					
○土石流被害の防止 保全対象 人家19戸 県道790m 土砂整備率 (現況)0% < 70% ※ 災害実績 無 ※ 重要公共施設 無 ※				・便益(B)= 350 百万円					
				・費用(C)= 130 百万円				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
□副次目標				④事業実施・規模の妥当性				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(※ 評価基準値)				・流域内は不安定土砂が堆積しており、下流へ流出するおそれがある。なお、砂防ダムの計画はない				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				⑤整備手法の有効性				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
□副次効果				⑥環境負荷への配慮				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-				・切土法面は緑化し、裸地を残さない				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-				⑦事業計画の熟度				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-				・地元山梨市より強い要望あり				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
				<妥当性評価>					
				・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断					
(2)整備内容と整備量				(4)事業間優先度評価					
①整備内容				・貢献度ランク: b 副次効果ランク: 2 優先度評価: III					
②整備期間				(5)総合評価				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③総事業費				・(3)及び(4)の結果から「優先的」に実施					
④全体計画									
平成31年度 谷止工1基 50百万円									
平成32年度 谷止工1基 50百万円									
平成33年度 谷止工1基 40百万円									
⑤規整備内容・期間・事業費				【事業位置図等】					
-									